

子どもたちが主に感染する病気と登園のめやす

病名	主な症状	登園のめやす	感染しやすい期間
はしか (麻疹)	発病2～3日間は38℃前後の発熱、鼻水、咳、目やに等の症状がでる。一度熱が下がるが、半日もすると再び39～40℃の高熱、発疹が出る。	熱が下がり3日を経過してから	発熱が出る1～2日前から発疹が出てから4日の間
風疹	発熱と同時に発疹が出て、耳の後ろや首のリンパ腺が腫れる。発熱、発疹は3日くらいでなくなる。	発疹がなくなってから	発疹が出る7日前から出た後の7日間
みずぼうそう (水痘)	発疹が全身に出て水痘となる。約1週間後には、全部がかさぶたになる。不機嫌、食欲不振、発熱を伴うことがある。	すべての発疹がかさぶたになってから	発疹が出る1～2日前からすべての発疹がかさぶたになるまで
おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)	1～3日間微熱が続き、多くは片方の耳下腺が軟らかく腫れ、軽い痛みがある。2～3日経つと反対側も腫れてくることもある。	耳下腺、顎下腺又は舌下腺腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になってから	耳下腺の腫れる3日前から腫れた後4日の間
百日咳	かぜのような症状が1～2週間続き、次第に咳が激しくなる。夜間に咳が多く、顔を真赤にして苦しがり嘔吐することもある。	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了してから	咳が出はじめてから2週間、抗菌薬内服開始後7日間
インフルエンザ	突然高熱が出て寒気、頭痛、腰痛、関節痛等がおきる。咳は回復期になって出てくる。食欲不振や不機嫌程度の症状の時もある。	発症した後5日を経過し、かつ、解熱したあと3日を経過してから	発病前1～2日前から発病後3～4日の間
咽頭結膜熱 (プール熱)	高熱とともにのどの痛みと赤みを伴い、目の充血、目やに、涙目。頭痛、食欲不振、全身倦怠感を伴うこともある。	発熱や目の症状がなくなり2日を経過してから	発病後2～4週間

溶連菌感染症	突然高熱が出てのどが赤く腫れて痛み、頭痛がある。舌が赤くなりブツブツが出る(イチゴ舌)。細かい発疹が体に出るが、口の周囲には出ない。熱が下がり発疹の色が消えると皮膚がむけてくる。	抗菌薬治療開始後24時間を経て、熱が下がり全身状態が回復してから	抗菌薬内服後24時間が経過するまで(治療しなかった場合2~7日間)
手足口病	夏かぜの一種。微熱と共に、手のひら、足の裏、膝、尻、口内に水疱がある発疹が出る。口の中が痛むことにより、食欲が落ちることがある。	発熱や口腔内の水疱の影響がなく普段の食事にとれてから	発疹が出て3~5週間
りんご病 (伝染性紅斑)	微熱とかぜのような症状の後、両頬にあざやかな紅斑が出て1~2日経つと腕や太股にも紅斑が出る	全身状態がよいこと	かぜ症状発現から顔に発疹が出るまで
細菌性腸炎・ 腸管出血性大腸菌 感染症	嘔吐、下痢が主な症状。下痢は軽いものから、水や牛乳のような便で回数が多いものまであり、脱水症状を起こす場合もある。時に発熱を伴うこともある。	嘔吐、下痢がおさまリ、全身状態が回復してから	症状がある間と症状消失後2~3週間
アデノウィルス感染症 【咽頭結膜熱(プール熱) ・流行性角結膜炎】	目の充血、目やに、涙目。乳幼児は発熱、不機嫌を伴う。感染力が非常に強い	目の症状がなくなり、主治医が登園を認めてから	発症後2週間
ヘルパンギーナ	夏かぜの一種。高熱と口腔内(上あごの奥)に水疱ができる。	発熱や口腔内の水疱の影響がなく普段の食事にとれてから	発病後3~4週間
とびひ (伝染性膿痂疹)	水疱性の発疹と黄色いかさぶたの発疹の2種類がある。かゆみを伴い、搔くと広がる。	かさぶたが乾燥しているか、浸潤部位が覆える程度であること	効果的治療開始後24時間まで

この色の病気に感染した場合は、再登園届が必要です。
(再登園届用紙は担任に申し出るか次ページをコピーして下さい。)

このしおりは、卒園されるまで使用して頂きますので大切に保管して下さい。